SANYO

パッケージエアコン・氷蓄熱ユニット
STK-RPP355B

取扱説明書

HFC 採用 エアコン

新冷媒 HFC（R410A）採用機種

品番　新冷媒（R410A）専用　氷蓄熱ユニット

STK-RPP355B

このたびはパッケージエアコン・氷蓄熱ユニットをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
この取扱説明書は室外ユニット付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

もくじ

安全上のご注意 ……1
各部のなまえとはたらき ……3
蓄熱コントローラー ……4
　各部のなまえ ……4
　操作のしかた ……6
お手入れのしかた ……11
水抜のしかた・給水のしかた ……12
水質の管理 ……13
仕　様 ……14

フロン回収・破壊法　第１種特定製品	
フロンの見える化	1）この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。 2）本ユニットには二酸化炭素＊＊kgに相当するフロン類が使用されています。 3）上記2）の数値（＊＊）は、本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長等により異なります。システム全体での数値は、室外ユニットのサービスパネル裏面の記入欄に記載されています。 室内ユニットについては、銘板あるいはラベル（電装ボックス）に記載されています。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

●図記号の意味

⚠ 「警告」や「注意」を促す事項を表します。	🚫 「禁止」を表します。	❗ 必ず実行してほしい行為を表します。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警　告

ご自分で据え付けはしない

据え付けは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電や火災、水漏れ等の原因になります。

別売品は必ず当社指定の製品を

加湿器等の別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。
また、別売品の取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れ等の原因になります。

万一の冷媒漏れへの対策を

万一冷媒が漏れても限界濃度をこえない対策が必要です。
限界濃度をこえない対策として、開口部や換気扇の取り付け等があります。お買いあげの販売店にご相談ください。
万一冷媒が漏洩して限界濃度をこえると酸欠事故の原因になります。

⚠ 注　意

アース工事をする

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

漏電しゃ断器を取り付ける

漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

給排水配管・ドレン配管は、確実に排水するように施工する

配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

使用上の注意事項

⚠ 警　告

給水時の濁り、給水量の不足、給水後の水漏れがないように

氷蓄熱ユニットに給水をするときに水が濁っている場合は、清水になるまで通水による給水配管の清掃（フラッシング作業）を行ってください。その後、水を張ってください。
給水完了後に水漏れ検査をしてください。漏れている場合はお買いあげの販売店にご連絡ください。
ご自分での修理は絶対にしないでください。

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して手元電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電や火災、故障等の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。

濡れた手でスイッチを操作しない

感電や故障の原因になります。

使用上の注意事項

⚠ 注　意

他の目的に使用しない

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。
品質低下等の原因になることがあります。

禁　止

正しい容量のヒューズ以外は使用しない

針金や銅線を使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

禁　止

ユニットの上に乗らない・物を載せない

落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。

禁　止

長期使用で据付台等が傷んでいないか確認する

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

禁　止

こまめに換気する

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

換気する

掃除をする時は必ず運転を停止して、手元電源スイッチを切る

内部でファンが高速回転しており、感電やケガの原因になることがあります。

電源を切る

可燃性スプレー等を直接吹きかけない

可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。
発火の原因になることがあります。

禁　止

氷蓄熱ユニットの電源を切ったままにしない

冬季に氷蓄熱ユニットの電源を切った状態で放置するとユニット内の水が凍結し、ユニットが破損する恐れがあります。

禁　止

不適切な水を使用しない。

氷蓄熱ユニットに、使用する水は必ず水道水（上水）を使用し、13ページの「氷蓄熱ユニットの水質基準」に従ってください。
また、使用する水に防錆剤等は入れないでください。

禁　止

定期的に水質検査する

水質は時間とともに変化します。
半年に１回程度の定期的な水質検査を行ってください。

定期的に
水質検査する

移設・修理時の注意事項

⚠ 警　告

ご自分で改修はしない

改修は絶対にしないでください。
また、修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。
修理に不備があると感電や火災、水漏れ等の原因になります。

禁　止

移動再設置は、販売店に相談する

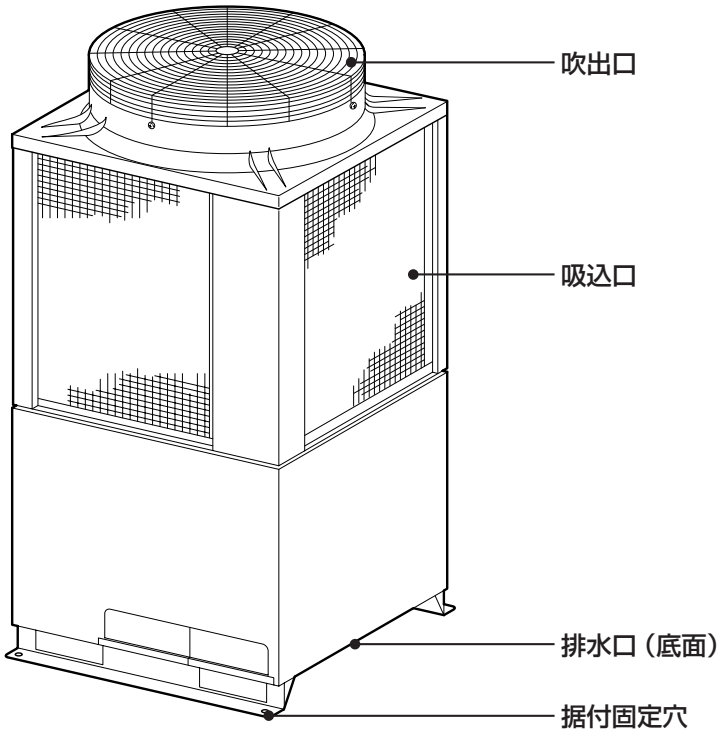
エアコンを移動再設置する場合は、お買いあげの販売店または専門業者にご相談ください。
据え付けに不備があると感電や火災、水漏れ等の原因になります。

販売店に
相談する

各部のなまえとはたらき

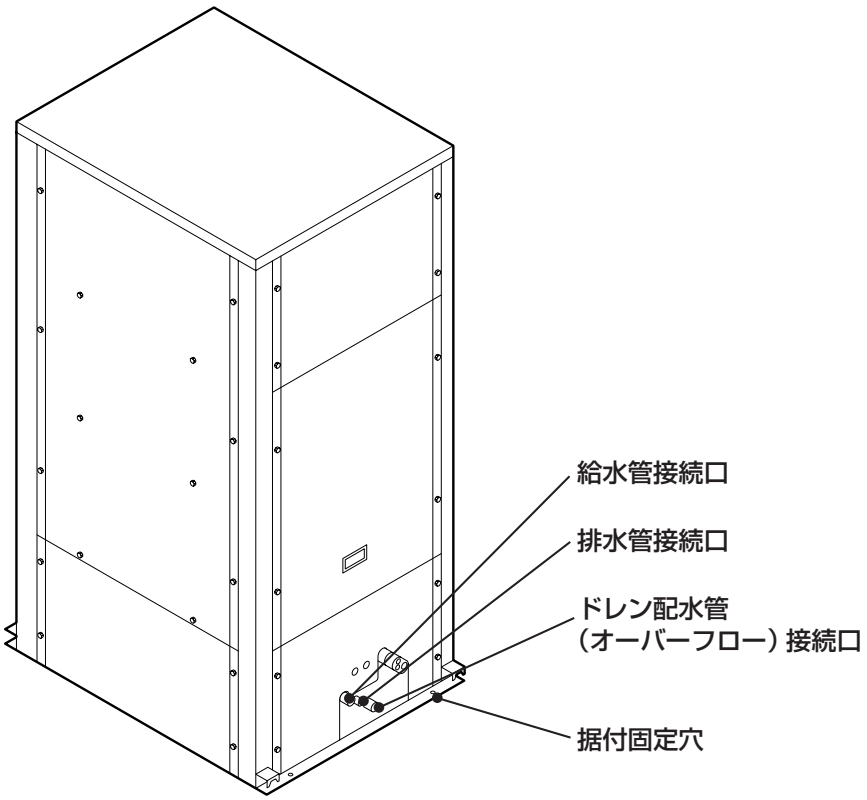
室外ユニット

●スーパーWマルチ
SPW-CHDXPシリーズ



氷蓄熱ユニット

●STK-RPP355B



蓄熱コントローラー

各部のなまえ

- 氷蓄熱ユニットを管理する専用コントローラーです。
- 1台の蓄熱コントローラーで氷蓄熱ユニットを8台まで接続できます。
- 氷蓄熱ユニットごとの製氷運転、温水蓄熱運転、週間プログラム設定（個別、一括）が行えます。

1. 操 作 部

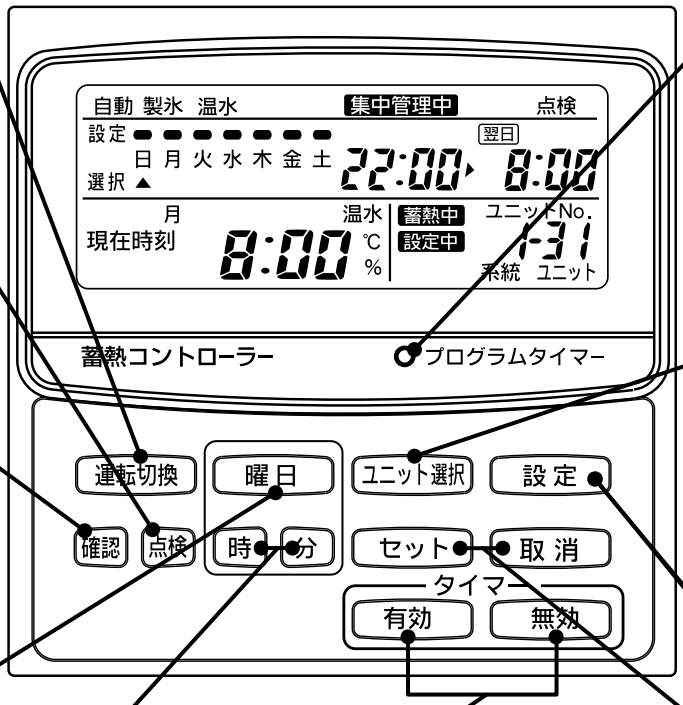
運転切換ボタン
氷蓄熱ユニットの運転モードを切り換えるときに押します。※1
（☞ 9ページ）

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しません。

確認ボタン
プログラムタイマー設定を確認するときに押します。
（☞ 9ページ）

曜日ボタン
曜日を設定するときに使用します。
（☞ 6、8ページ）

時ボタン・分ボタン
時間を設定するときに使用します。
（☞ 6、7ページ）



プログラムタイマーランプ
プログラムタイマーが有効中に点灯します。異常時、保護動作中は点滅します。

ユニット選択ボタン
1台の蓄熱コントローラーに氷蓄熱ユニットが複数台接続されている場合、氷蓄熱ユニットに接続されている室外ユニットの系統を選択します。
（☞ 7、9ページ）

設定ボタン
設定モードにするときに押します。
（☞ 6、7、8ページ）

有効ボタン・無効ボタン
プログラムタイマーを有効／無効にします。
（☞ 6、8、9ページ）

セットボタン・取消ボタン
プログラムタイマーを設定するときに使用します。
（☞ 6、7、8ページ）

※1 氷蓄熱ユニットの運転モードについて。
（氷蓄熱ユニットが運転中は室内ユニットの運転はできません。）

自 動

外気の温度	氷蓄熱ユニット運転モード
18℃以上	氷蓄熱運転
18℃未満 13℃以上	前回の夜間蓄熱運転モードが温水蓄熱運転のときは、温水蓄熱運転 上記以外は氷蓄熱運転
13℃未満	温水蓄熱運転

製 氷
夜間氷蓄熱運転を行って製氷します。

温 水
夜間温水蓄熱運転を行って温水をつくります。

蓄熱コントローラー

2. 表 示 部

遠隔運転時に表示します。遠隔側で手元禁止を設定している場合、有効／無効・運転切換のボタンを操作したとき、集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。

入り時刻
氷蓄熱ユニットの運転開始時刻が表示されます。

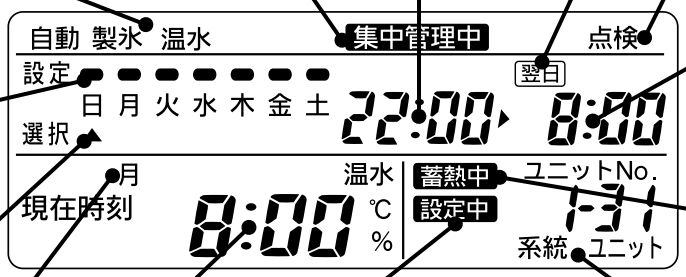
切り時刻が入り時刻の翌日になる場合に表示されます。

保護装置作動時および異常時に表示されます。

氷蓄熱ユニットに設定されている運転モードを表示します。

切り時刻
氷蓄熱ユニットの運転停止時刻が表示されます。

プログラムタイマー設定されている曜日の上に表示します。



曜日を設定するときに表示します。

氷(温水)蓄冷熱運転中に表示されます。

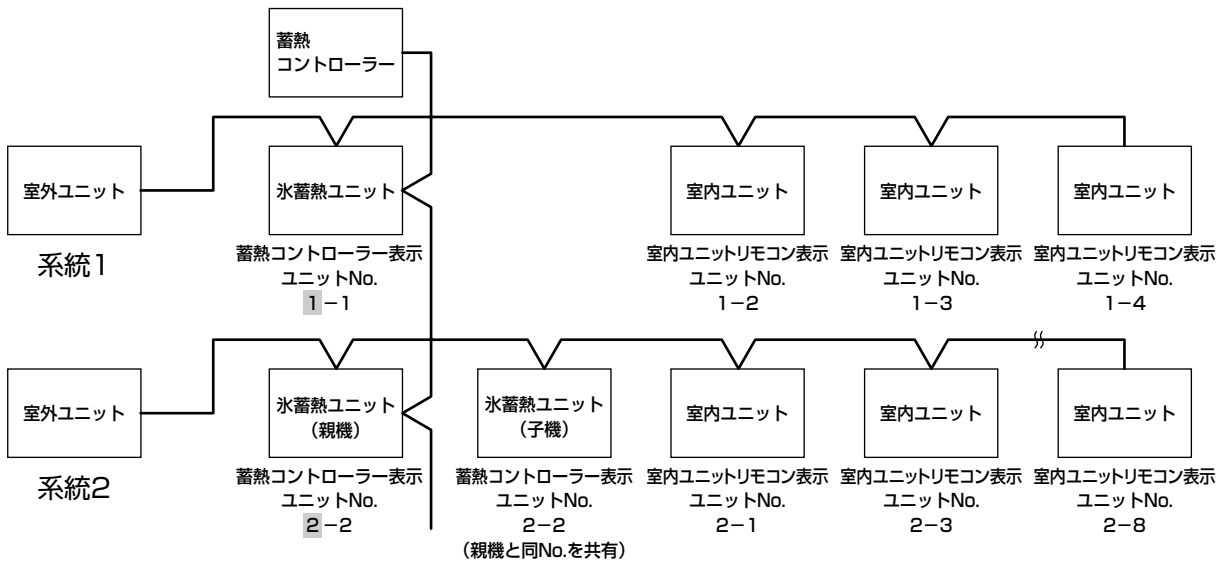
現在曜日を表示します。

現在時刻を表示します。

プログラムタイマーを設定中に表示されます。

ユニット選択ボタンで選択されているユニットNo.や異常表示をしているユニットNo.を表示します。(氷蓄熱ユニットに接続されている室外ユニットの系統と氷蓄熱ユニットのユニットNo.が表示されます。※2)

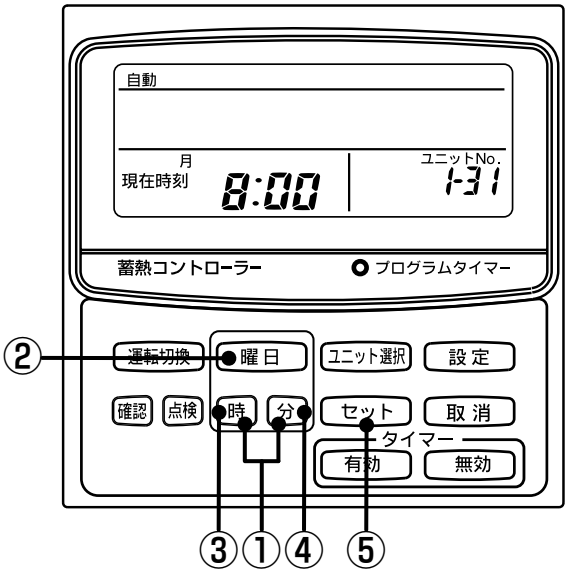
※2　室外ユニットの系統とユニットNoについては下記の例を参考にしてください。
（実際のユニットNo.は設定により異なることがあります。）



操作のしかた

1. 現在時刻の合わせかた

曜日と現在の時刻をセットします。



① 時 ＋ 分 を同時に4秒以上押します。
- 曜日と現在時刻が点滅します。

② 曜日 を押して今日の曜日に合わせます。
- 曜日を押すごとに日→月→火と切り換わります。

③ 時 を押して現在の時間を合わせます。

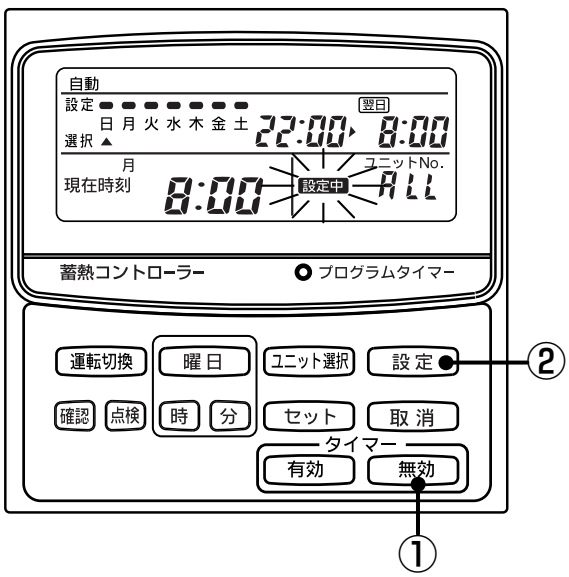
④ 分 を押して現在の分数を合わせます。
- 時 （分） を押すごとに＋1ずつ時間が増えます。（押しつづけると連続的に増えます。）

⑤ セット を押すと通常の表示に戻ります。
- 約30秒がすぎると元の表示に戻ります。

2. プログラムタイマーの合わせかた

- プログラムタイマーを合わせる前に、必ず現在時刻と現在曜日を正しくセットしてください。
正しいプログラムタイマー運転ができません。

1. 設定モードにします。

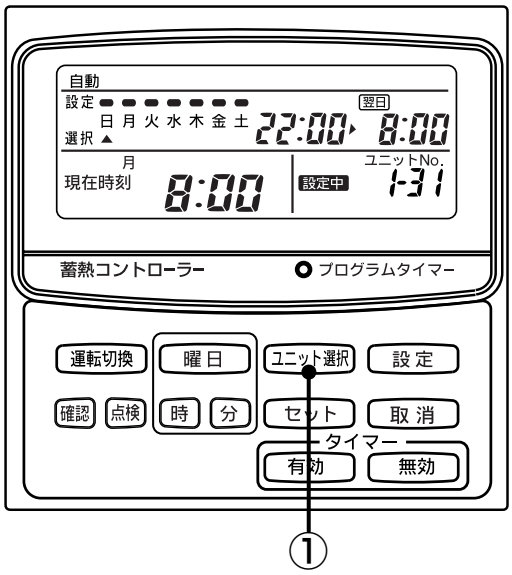


① プログラムタイマーの 無効 を押して、必ずプログラムタイマーを停止してください。
- プログラムタイマーの入り時刻、切り時刻と曜日が表示されているときはプログラムタイマーが有効になっています。

② 設定 を2秒以上押します。 設定中 が点滅して、設定モードに入ります。
- ユニットNo.が表示されます。
- プログラムタイマーの入り時刻と切り時刻が表示されます。
- 曜日の下に“選択▲”が点灯します。

初期設定は次のように設定されています。
プログラムタイマー時間　：22:00~8:00(翌日)
プログラムタイマー有効／無効：無効
選択曜日　　：全曜日選択済み
運転モード　　：自動

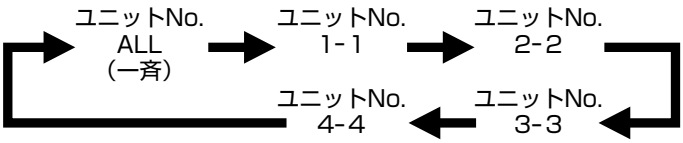
2. ユニットを選択します。



1台の蓄熱コントローラーで複数系統の氷蓄熱ユニットを運転している場合、ユニット選択を押してプログラムタイマー設定を行う系統の氷蓄熱ユニットを選択してください。

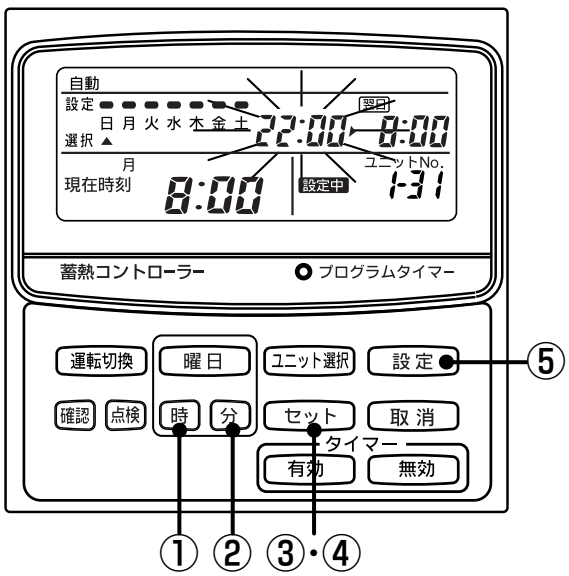
《ユニット選択》

① ユニット選択を押すごとに次のように切り換わります。
（例）1台の蓄熱コントローラーに4台の氷蓄熱ユニットが接続されている。（実際のユニットNo.は設定により異なることがあります。）



- 表示されたユニットNo.に対してプログラムタイマー設定が行えます。（ユニットNo.“ALL”を表示させると、接続されている全部の氷蓄熱ユニットに対して一斉に同じプログラムタイマー設定を行えます。）

3. 入り時刻と切り時刻をセットします。



※ 設定中が点滅していれば、設定モードに入っています。
設定中が点滅していない場合は、設定モードにしてください。

《入り時刻を合わせます》

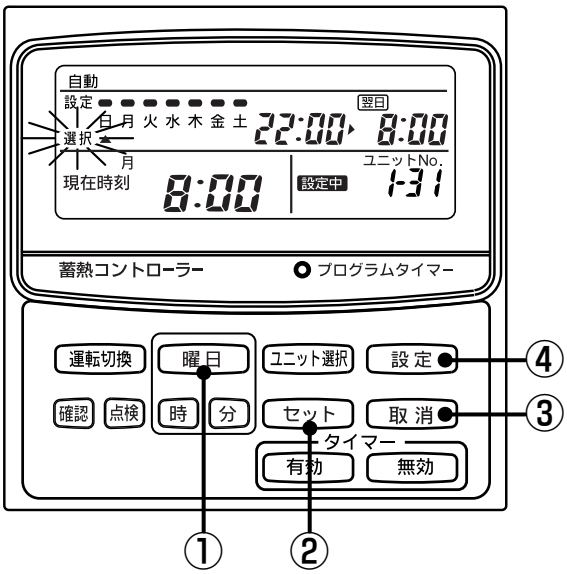
① 時を押して入り時刻の時間を合わせます。
② 分を押して入り時刻の分数を合わせます。
- 時（分）を押すごとに＋1ずつ時間が増えます。（押しつづけると連続的に増えます。）

③ セットを押すと入り時刻が点灯に変わり、切り時刻が点滅します。

《切り時刻を合わせます》

上記の①と②、同じ方法で切り時刻を合わせます。
④ セットを押すと切り時刻が点灯に変わります。
このまま、曜日の設定を行うときは“4. 曜日を設定します”に進んでください。
⑤ 設定を押すと設定モードが終了して、設定されているプログラムタイマー設定時刻、曜日が消えます。

4. 曜日をセットします。



※ 設定中 が点滅していれば、設定モードに入っています。
設定中 が点滅していない場合は、設定モードにしてください。

《曜日を選びます。》

① 曜日 を押すと、曜日の下に“選択▲”が点滅して曜日の選択ができます。
- 曜日 を押すごとに“▲”が日→月→火と移動しますので、選択したい曜日の下に“▲”を移動してください。

《曜日をセットします。》

曜日の上に“▬”が点灯している曜日はプログラムタイマー設定されています。（初期設定は全曜日にプログラムタイマー設定されていますので、全曜日の上に“▬”が点灯しています。）

② プログラムタイマー設定したい曜日の下に“選択▲”を点滅させて セット を押すと、曜日が設定されます。
- 曜日の下に“選択▲”が点灯に変わり、曜日の上に“▬”が点灯します。

《曜日を取消します。》

③ プログラムタイマー設定を取り消したい曜日の下に“選択▲”を点滅させて 取消 を押すと確定されている曜日を取り消します。
- 曜日の下の“選択▲”が点灯に変わり、曜日の上の“▬”が消灯します。

④ 設定 を押すと設定モードが終了して、設定されているプログラムタイマー設定時刻、曜日が消えます。

※ プログラムタイマー設定されていない曜日は、蓄熱運転行いません。

3. プログラムタイマーの開始方法

① タイマー 有効 を押します。（プログラムタイマー運転中）
- プログラムタイマーランプが点灯します。（プログラムタイマー設定が有効）
- 選択されているユニットNo.（氷蓄熱ユニット）の運転モード、プログラムタイマー設定内容（プログラムタイマー設定時間と設定曜日）と現在時刻、曜日が表示されます。

蓄熱コントローラー

4. プログラムタイマーの停止方法と氷蓄熱ユニットの運転モードについて

① タイマー 無効 を押します。
（プログラムタイマー動作停止）
- プログラムタイマーランプが消灯します。
- 通常の表示に戻ります。

② ユニット選択 を押すごとに、選択されているユニットNo.が表示されます。（ALL(一斉)はありません。）
- 選択されているユニットNo.（氷蓄熱ユニット）の運転モードを設定します。

③ 運転切換 を押して、自動、製氷、温水のいずれかにします。（運転モードについては4ページをご覧ください。）

5. プログラムタイマー設定の確認方法

① 確認 を押すと、確認モードに入ります。
- 選択されているユニットNo.（氷蓄熱ユニット）の運転モード、プログラムタイマー設定内容（プログラムタイマー設定時間と設定曜日）と現在時刻、曜日が表示されます。

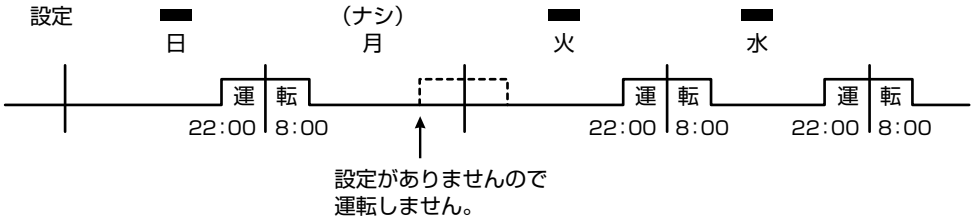
② ユニット選択 を押すごとに、選択されているユニットNo.が表示されます。
- 表示されているユニットNo.（氷蓄熱ユニット）の運転モード、プログラムタイマー設定内容（プログラムタイマー設定時間と設定曜日）が表示されます。

③ 再度、 確認 を押すと、元の表示に戻ります。
- プログラムタイマー設定内容（プログラムタイマー設定時間と設定曜日）が消えます。
- 確認 を押さずにいても、一定の時間（約10秒）がすぎると元の表示に戻ります。

6. プログラムタイマー設定時間について

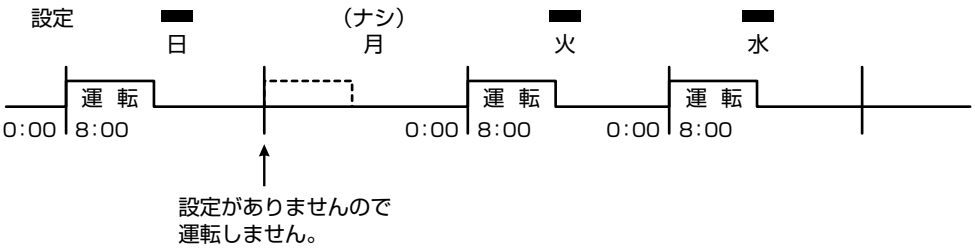
（翌日）点灯

①入り時刻 ＞ 切り時刻（例）22:00▶8:00（翌日の8:00になります。）
（切り時刻は、翌日になります。）



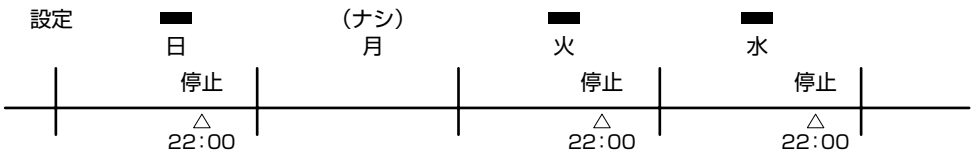
（翌日）消灯

②入り時刻 ＜ 切り時刻（例）0:00▶8:00（当日の8:00になります。）
（切り時刻は、当日になります。）



（翌日）消灯

③入り時刻 = 切り時刻（例）22:00▶22:00（当日の22:00になります。）
（入り時刻と切り時刻が同じ場合は、その時間に停止を送ります。）



注記 ●全く運転しません。（その時刻にプログラムタイマー停止の処理を行います。）
●入り時刻と切り時刻が同じ場合は、切り時刻が優先されます。

7. 停電について

運転中に停電しても、電源が復帰した場合は自動的に通常に戻ります。プログラムタイマー設定がしてある場合、運転中に停電すると、通電後、停電前のプログラムタイマー設定内容で復帰します。
但し、長時間停電または長時間手元電源スイッチを切った場合等（連続して約100時間以上）、バックアップ用電池がなくなり自動復帰しません。手元電源スイッチを入れるとバックアップ電池は充電されます。
曜日、現在時刻とプログラムタイマーの再設定を行ってください。

● 停電前：プログラムタイマー有効 → 通電後：プログラムタイマー有効の状態に戻ります。
● 停電前：プログラムタイマー無効 → 通電後：プログラムタイマー無効の状態に戻ります。

お手入れのしかた

お手入れの前に

40℃以上のお湯は使わない

変形・変色の原因になることがあります。

揮発性のもの等は使わない

ベンジン・シンナー・みがき粉等でふいたり、市販の液状殺虫剤などをかけないでください。
変形・変色の原因になります。

外装の掃除

やわらかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合は、布を40℃以下のぬるま湯か水にひたし、よくしぼってからふいてください。その後は乾いた布でふいてください。

給水管に外部とり付けされているY型ストレーナーの掃除（現地手配品）

ストレーナーのメッシュを取り外してフィルターの洗浄を行ってください。

シーズンの終わりには

- 氷蓄熱ユニットの手元電源スイッチは切らないでください。

※中間期も水抜きしないでください。

※給排水の凍結防止に充分注意してください。

シーズンの始めには

冷房シーズンの始めには給水弁が開いていることをご確認ください。

次のことを確認してください。

- 据付台等が腐ったり錆びたりして、据え付けの強度が弱くなっていませんか？
- アース線が途中で断線したり、はずれていませんか？

※以上がある場合は、お買いあげの販売店にご連絡ください。

長時間エアコンを使用せずに手元電源スイッチを切ってあった場合は、次のことを行ってください。

- 電源は運転開始の5時間以上前に入れてください。
- 長時間（100時間以上）にわたって手元電源を切った場合は、蓄熱コントローラーの設定を再度行ってください。
  蓄熱コントローラーの充電時間は最低5時間以上かかります。

給水・水抜きのしかた

給水のしかた

- 氷蓄熱ユニットの手元電源スイッチを“OFF”にしてください。
- 給水弁を“開”、排水弁・水抜弁を“閉”にしてください。
  その後、氷蓄熱ユニットの手元電源スイッチを“ON”にしてください。
  氷蓄熱ユニット内に自動給水弁が内蔵されていますので、基準水位になると自動的に給水は止まり、水張りは完了します。（無水状態からの給水時間は、給水水圧98kPaで約3時間程度かかります。）
- 初めて給水を行うときは、水が濁っている場合がありますので、その場合は排水弁を開いたまま、清水になるまで通水を行ってください。
- 給水中は蓄熱コントローラーには“点検”と警報“P9”（親機の減水警報）または“P25”（子機の減水警報）が、室内ユニットのワイヤードリモコンは“点検”が表されますが、給水が完了すると自動的に表示は消えます。

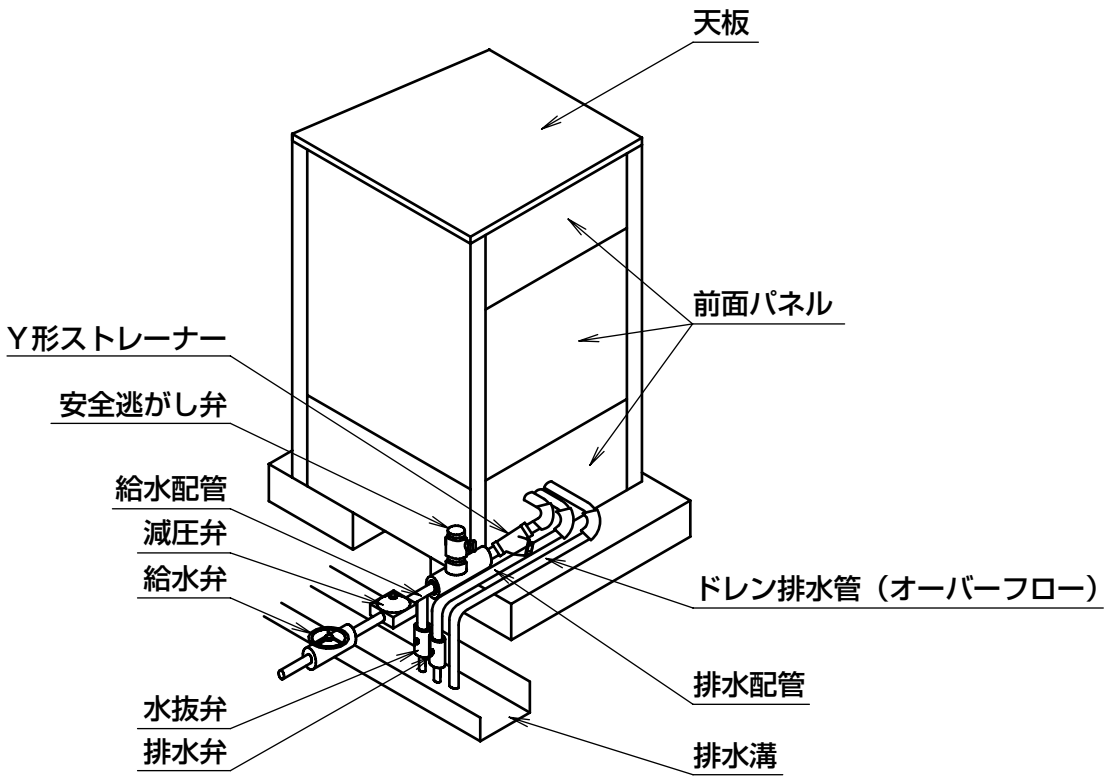
注　意

- 給水には必ず水道水（上水）を使用してください。
- 使用する水は13ページの「氷蓄熱ユニットの水質基準」にしたがってください。
- 水に防錆剤等を入れないでください。

水抜きのしかた

- 給水弁を“閉”にしてください。
- 排水弁・水抜弁を“開”にしてください。蓄熱槽内の水は完全に抜いてください。
  （途中で水抜きをやめないでください。）

設置例



水質の管理

氷蓄熱ユニットの水質基準

- 氷蓄熱ユニットは、蓄熱槽にステンレス鋼板、熱交換器に銅管を使用しており、蓄熱用水として適切な水質を維持する必要があります。
- 氷蓄熱ユニットとしての性能を維持し、腐食を防止するため、必ず水道水（上水）を使用し、かつ（社）日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。
- ただし、遊離炭酸については、工業会の水質基準より厳しく管理します。

蓄熱ユニットの水質基準

項目		単位	基準値	基準値を超えた場合の対応
基準項目	pH（25℃）	〔−〕	7.0〜8.0	重曹投入によるpH調節
	電気伝導率（25℃）	〔mS／m〕	30以下	
	塩化物イオン	〔mgCl^-／L〕	50以下	孔食指数で管理
	硫酸イオン	〔mgSO_4^{2-}／L〕	50以下	孔食指数で管理
	酸消費量（pH4.8）	〔mg$CaCO_3$／L〕	50以下	孔食指数で管理
	全硬度	〔mg$CaCO_3$／L〕	70以下	軟水器で除去
	カルシウム硬度	〔mg$CaCO_3$／L〕	50以下	軟水器で除去
	イオン状シリカ	〔mgSiO_2／L〕	30以下	
参考項目	鉄	〔mgFe／L〕	0.3以下	フィルター除去
	硫化物イオン	〔mgS^{2-}／L〕	検出されないこと	重曹投入（pH値を上げる）
	アンモニウムイオン	〔mgNH_4^+／L〕	0.1以下	
	残留塩素	〔mgCl／L〕	0.3以下	金属防食剤の添加
	遊離炭酸	〔mgCO_2／L〕	1.0以下＊1	重曹投入（pH値を上げる）

＊1は、JRA−GL02−1994水質基準の4.0以下より厳しく管理します。

水質の管理

- 蓄熱ユニットの水替えは、極力行なわないでください。
- また、使用開始時および使用開始後定期的に（半年に1回程度）水質検査を行い、水質の変化を継続的に観測し、腐食傾向（緑青）が現れた場合は水の入れ替えを行うか、水処理メーカー等と協議し、適切な対策を行ってください。
- 水の入れ替えを行う場合は、蓄熱槽の清掃を合わせて実施してください。
- なお、薬品を使用する場合は、システムに影響を与えないように選定の検討が必要です。
- 蓄熱ユニットの天板を外すと、再びはまりにくい場合があります。ユニット前面パネル取り付けねじ全てを緩めてから天板をはめ、再びねじを締め付けてください。

注　意

- 水質は時間とともに変化します。半年に1回程度の定期的な水質検査を行ってください。

仕様

■氷蓄熱ユニット

品番	最大蓄熱量(MJ)		IPF (%)	水張時 (kg)	製品質量(kg)		冷媒封入量 (kg)	二酸化炭素換算値(ton)
	冷房	暖房			製品	運転時		
STK−RPP355B	255	25	70以上	840	210	1050	8.0	16.8

●IPFは氷充てん率のことです。蓄熱槽内全水量に対する製氷容積の比を表します。
●使用する水は13ページの「氷蓄熱ユニットの水質基準」にしたがってください。

■蓄熱コントローラー（氷蓄熱ユニット操作用）

品番	RCS-ST450U
外形寸法(mm)	(高さ)120×(幅)120×(奥行)16
取付方法	埋込・露出兼用 露出して取り付ける場合は、別売品のリモコンコードが必要です。
氷蓄熱ユニット接続台数	最大8台
時計方式	水晶時計
時計精度	±30秒／月(常温)
表示	水晶表示
プログラム周期	24時間
タイマー設定単位	1分
電源定格	DC16V(氷蓄熱ユニットより供給)

お客さまメモ

お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼される時便利です。

品番	
据付年月日	年　月　日
お買いあげ販売店名	電話番号　（　）

当社空調製品についてのご相談は別紙「お客さまご相談窓口」をご覧ください。

三洋電機株式会社

85464189753002